企業・団体名（ 株式会社ユニオンプレート ）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・採用、評価等の条件において性別、年齢、障がい、国籍、出身などよる差別をしない体制を構築している ・相互理解の研修を毎年実施している ・【予定】就業規則への明記					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメント禁止を就業規則に明記し、相談体制と窓口を整備している ・定期的に研修を実施している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・労働基準法等から逸脱する時間、日数等の働き方が発生した場合は通知される仕組みを導入し、規制を超えない管理を実施している ・多能工化を推進し、個々の業務負担を軽減している ・自動機開発によるオートメーション化を推進している								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・技能実習法を遵守し「優良な実習実施者」の認定を受けている ・研修を実施し外国籍社員との相互理解に努めている				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・安全衛生委員会を設置し、社内イントラにて取組み内容を全員に周知している ・定期的に職場の安全パトロールを実施している			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・「心の健康づくり計画」を策定している ・メンタルヘルスに関する職場の理解を促進するための研修を実施している			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・更衣室、トイレ等は男女別に十分な数を用意している ・外国籍社員のために、社内文書を必要に応じて外国語に翻訳している ・障がい者雇用優良事業所等の理事長表彰を受けている ・障がい者、高齢者が作業しやすいよう台や棚などを専用で用意している					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・階層、職種別の教育体制を構築し、毎年研修を実施している ・社内勉強会を実施している				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・労働契約法等の改正内容を理解し、法律に沿った体制を整備している ・社員の子育て応援宣言（長野県）を行っている					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	基本	・健康経営優良法人認定（経済産業省）を取得している ・健康づくりチャレンジ宣言（協会けんぽ長野支部）を行っている			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・マニフェストを管理し、種類、量を把握している ・廃棄時のルールを管理し、周知している											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・デマンドコントロール装置を導入し、電気使用量と温室効果ガスを把握し、削減を計画している							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・社有車のハイブリッド車割合が5割以上である ・全工場の照明をLED化している							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・PCB廃棄物の処理に対し、法律に従い適切な処理を実施している ・有害化学物質を含むものを使用しないようにしている			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・副資材購入において環境に配慮した製品選定を行っている						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・家庭から出る布製品をウエスとして使用している ・製品梱包材に古新聞を利用している ・廃木材を暖房に利用している												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・水の使用量を把握し、削減を実施している ・段階的に自動水栓に切り替え、節水に努めている						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】エコアクション21を取得予定			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・環境方針を定め、従業員に周知するとともにHPにて公表している												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	基本	・5つの工場に太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる ・太陽光パネルへの積極投資を実施している							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・文書管理ソフト導入により販売管理業務の9割をペーパーレス化している ・事務用紙はすべてFSC認証製品を利用している												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・就業規則に贈収賄の禁止を明記し、周知している																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・e-ラーニングによる法令遵守の研修を実施している 【予定】コンプライアンス規程の作成																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・e-ラーニングによる法令遵守の研修を実施している								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・個人情報取扱について規定に定め、社員に周知している ・特定個人情報取扱規程を定め、取扱部署にて適切に管理している																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・紛争鉱物は取り扱っていない																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・HPにて方針を公表し、共感できる取引先とのみ取引している					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・ミルシート提出の体制が整備されている ・作業マニュアルが整備され、安全な製品づくりの体制が整備されている			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・作業マニュアルを整備し、品質を保証している ・社内不良をカウントし、毎月削減の対策を実施している									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・廃油ストーブを導入し、加工時に発生する廃油排出量の減少に努めている ・スプレー缶による着色なしで在庫管理できる仕組みを取り入れている						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・人手不足でも製品が加工できるよう自動機の導入と開発を実施している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	地域貢献・社会貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・工場騒音を測定し、必要に応じ防音対策を実施している				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・地元中学への寄付、贈呈を定期的に行っている ・地元中学からの職場見学を積極的に受け入れている ・会社周辺のゴミ拾いを定期的に実施している ・地域行事で駐車場が必要な場合は貸出している				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・地元のメーカー、商社、物流会社を利用している ・贈与品は必ず地元農産物にしている								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・年度ごとに会社方針と経営計画を作成し社長が発表している								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・クレーン、玉掛などの必要な資格を入社と同時に取得させる体制を敷いている ・会社の団体保険を用意し、自転車通勤者への全保険加入を実現している ・運転記録証明書を取得し、従業員への注意喚起を実施している																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・経営管理部門にて管理者を選任し体制整備している																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・年度ごとの方針と計画を作成し、関係者へ周知共有している																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・職場ごとのヒヤリハットを共有し、事前防止に努めている																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・CSR方針を策定し、社員への教育を実施している																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・BCPを策定し、担当者を決め従業員に周知している ・事業継続力強化計画(経済産業省)の認定を取得している									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・多能工化取組みにて技術と知識の継承を実施している ・クラウドマニュアルを導入し、技術の見える化を実現している								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）